

店舗から料理から「驚き」を発信し続ける！ お客様のニーズに合わせた 多種多様なイタリアン

フィール



「田園調布倶楽部」

んに使用していて、健康志向の女性客の心もつかんでいる。お仕事帰りの一杯や女子会、結婚式の二次会などお客様のニーズに応える各種プランをご活用いただき、ぜひ一度この嬉しい「驚き」を味わってほしい。

大田区の「田園調布倶楽部」(03・5483・3300、<http://www.denenhofclub.net/>)は、平成16

都心を中心に、お洒落で居心地のよい飲食店を展開しているフィール(中央区八重洲、田中至社長、<http://www.feel-company.net/>)。同社のプロデュースする店舗から2店ご紹介したい。

港区の「カスピタ!新橋」(03・3508・9909、<http://www.feel-company.net/shop/caspita-shinbashi/>)は、平成9年、日比谷通り沿いにオープンした。イタリ

ア語で「驚き」を意味するカスピタの2号店として、創業以来、常にお客様にとって料理やサービスで驚きを与えることがモットーである。

周辺には手狭な店が多い中、ク

ラシカルとモダンを融合した地下の店内はまさに驚くほど広々とした空間で、ゆったり食事を樂しめる。食材選びに力を入れ、特に農園から直送した旬の野菜をふんだ



「カスピタ!」のメニュー

ラシカルとモダンを融合した地下の店内はまさに驚くほど広々とした空間で、ゆったり食事を樂しめる。食材選びに力を入れ、特に農園から直送した旬の野菜をふんだんに使用していて、健康志向の女性客の心もつかんでいる。お仕事帰りの一杯や女子会、結婚式の二次会などお客様のニーズに応える各種プランをご活用いただき、ぜひ一度この嬉しい「驚き」を味わってほしい。

大田区の「田園調布倶楽部」(03・5483・3300、<http://www.denenhofclub.net/>)は、平成16年に田園調布の閑静な住宅街にオープンした一軒家レストラン。緑の多い街並みに佇む外観は教会を思わせ、都会の喧騒から離れた非日常的な雰囲気にも包まれてワンランク上の食事やワイン、サービスが樂しめる。シェフ自らが厳選した旬の食材を使用した料理やパティシエ自慢の季節のケーキは、田園調布エリアの舌の肥えたお客様にもリピーターが多い。今後は、地元だけでなく幅広いエリアや客層に認知度を上げ、よりたくさんのお客様の来店をめざして進化を続ける同店の「今」をご堪能いただきたい。